

廃棄物に関する意識調査票

問 1 令和 4 年度の県民 1 人 1 日当たりのごみ排出量は 991 グラムで全国 44 位、リサイクル率は 14.0% で全国 41 位と、それぞれ全国下位の状況にあります。あなたは本県のこのような現状について知っていましたか。（○は 1 つ）

1 知っていた

2 知らなかった

県内市町村の 1 人 1 日当たりごみ排出量とリサイクル率の状況（令和 4 年度）

市町村名	1 人 1 日当たり ごみ排出量 (g / 人日)	リサイクル 率 (%)	市町村名	1 人 1 日当たり ごみ排出量 (g / 人日)	リサイクル 率 (%)
青森市	1,022	13.8	板柳町	893	6.7
弘前市	1,073	9.1	鶴田町	728	19.3
八戸市	953	11.6	中泊町	917	10.9
黒石市	900	13.5	野辺地町	1,135	9.3
五所川原市	1,022	15.7	七戸町	1,005	14.8
十和田市	962	17.7	六戸町	717	18.1
三沢市	1,085	8.2	横浜町	1,093	14.5
むつ市	1,089	29.9	東北町	845	14.0
つがる市	856	15.7	六ヶ所村	1,299	10.8
平川市	888	11.6	おいらせ町	912	17.5
平内町	1,519	15.4	大間町	1,179	30.7
今別町	1,075	10.4	東通村	897	28.0
蓬田村	1,374	47.1	風間浦村	960	31.8
外ヶ浜町	1,053	26.9	佐井村	1,057	33.0
鰺ヶ沢町	964	6.8	三戸町	1,025	19.3
深浦町	994	10.2	五戸町	820	18.5
西目屋村	1,553	5.1	田子町	979	23.5
藤崎町	934	12.8	南部町	809	15.5
大鰐町	817	11.0	階上町	773	12.9
田舎館村	848	9.1	新郷村	697	24.5
			県全体	991	14.0
			全国平均	880	19.6

問2 あなたが普段、3R（※2）推進等、環境へ配慮するために意識していることや取り組んでいることについて、「いつもしている」、「たまにしている」、「ほとんどしていない」、「まったくしていない」のどれか1つを選択してください。また、下記項目のうち、重要度が高いと思うものを3つ選び、1から3の順番を付けてください。

※2 3R

リデュース（Reduce）：発生抑制（ごみの排出量を減らすこと）、**リユース（Reuse）**：再使用（いったん使用された製品等を再び使用すること）、**リサイクル（Recycle）**：再生利用（いったん使用された製品等を原料として使用すること）の3つの頭文字を取ったもの。これら3つの取組を進めることで天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができるだけ軽減される「循環型社会」の形成を目指すものです。

項 目	普段からの取組				重要と 思うもの (1～3の順番付)
	いつも している	たまに している	ほとんど していない	まったく していない	
マイバッグ・買い物かごを持参し、レジ袋はもらわない					
使い捨てのスプーン、フォーク、割り箸等をもらわない					
壊れにくく長持ちする製品を選ぶ。または故障したものも修理して長く使用している					
詰替製品や、繰り返し使用できる商品を利用している					
「3つのきる」を実践している (解説：生ごみや食ロス削減に向けた「食材を使い切る」、「料理は食べきる」、「生ごみは水気をきる」の3つの取組)					
リサイクルショップ・フリーマーケット・フリーマーケットアプリなど中古製品（中古の家具や家電製品、古着、古本など）が売られている店、サイトを利用（売る、買う）・活用している					
生ごみは家庭菜園等の堆肥として活用している					
空き箱や封筒などの雑紙（ざつがみ）を含め、資源化できる紙類の分別を徹底している					
市町村の分別方法に従い、資源ごみの分別を徹底している					
町内会・学校等、地域の団体が行う資源の集団回収活動に協力している					
スーパーや家電販売店等での店頭回収など、民間の資源回収活動を利用している					
再生原料で作られたリサイクル製品を購入している					
町内会などが主催するごみ拾い活動に参加している					
その他、ごみを出さないことやリサイクルに取り組んでいることがありましたらご記入ください。					

問3 近年、スーパーマーケット等の店頭で資源物回収ボックスが設置されるなど、行政が関与しない民間による資源回収が行われています。こうした民間回収をどの程度利用していますか。（○は1つ）

- 1 ほぼ民間回収に排出しており、行政回収はほとんど利用していない
- 2 主として民間回収を利用しているが、都合が合えば行政回収にも排出する
- 3 主として行政回収を利用しているが、都合が合えば民間回収にも排出する
- 4 ほぼ行政回収に排出しており、民間回収はほとんど利用していない
- 5 地区や学校の集団回収に協力しており、行政にも民間にもほとんど排出していない
- 6 資源物の分別排出をしていない
- 7 その他（具体的に

（問3で「1 ほぼ民間回収に排出しており、行政回収はほとんど利用していない」、「2 主として民間回収を利用しているが、都合が合えば行政回収にも排出する」と回答した場合）

問4 その理由を選択してください。（当てはまるもの全てに○）

- 1 資源物の回収量に応じてポイント（特典・景品）が付与されるから
- 2 買い物など、用事を足すついでに排出できるから
- 3 曜日や時間を選ばずに排出できるから
- 4 行政回収の回数などが少なく、利用しづらいから
- 5 行政回収の場所に持って行くことが困難だから
- 6 業者が戸別回収してくれるから
- 7 その他（具体的に

（問3で「3 主として行政回収を利用しているが、都合が合えば民間回収にも排出する」、「4 ほぼ行政回収に排出しており、民間回収はほとんど利用していない」と回答した場合）

問5 その理由を選択してください。（当てはまるもの全てに○）

- 1 民間回収してくれる業者や場所が近所になから
- 2 民間回収している場所が遠く、持って行く手段がないから
- 3 民間回収で付与されるポイント（特典・景品）に魅力がないから
- 4 行政回収の回数が多く便利だから
- 5 行政回収で戸別回収してくれるから
- 6 その他（具体的に

問6 スーパーマーケット等の店頭回収で利用している品目はどれですか。（当てはまるもの全てに○）

- | | | | |
|--------------|----------|--------------|--------------|
| 1 白色トレイ | 2 牛乳パック | 3 ペットボトル | 4 ペットボトルキャップ |
| 5 缶 | 6 びん | 7 容器包装プラスチック | 8 古紙 |
| 9 段ボール | 10 古着・古布 | 11 電池類 | 12 廃食用油 |
| 13 インクカートリッジ | | | |
| 14 その他（品目 | | | |

問7 現在はスーパーマーケット等の店頭回収品目ではないが、今後利用したい店頭回収品目はどれですか。（当てはまるもの全てに○）

- | | | | |
|--------------|----------|--------------|--------------|
| 1 白色トレイ | 2 牛乳パック | 3 ペットボトル | 4 ペットボトルキャップ |
| 5 缶 | 6 びん | 7 容器包装プラスチック | 8 古紙 |
| 9 段ボール | 10 古着・古布 | 11 電池類 | 12 廃食用油 |
| 13 インクカートリッジ | | | |
| 14 その他（品目） | | | |

問8 スーパーマーケット等での資源物店頭回収拠点を拡充してほしいと思いますか。（○は1つ）

- | |
|----------------------------|
| 1 スーパー等での資源回収場所をさらに増やしてほしい |
| 2 スーパー等での資源回収場所は今のままで十分である |
| 3 スーパー等での資源回収を利用しないので分からない |

問9 県では、生ごみ排出量削減や食品ロス削減に向けて「3つのきる」の取組を推進していますが、ご家庭や個人で実際に取り組んでいる取組について、該当するものを選択してください。（当てはまるもの全てに○）

- | |
|--|
| 1 あらかじめ献立を考えて買い物に行くなど、余計な食材を買わないようにしている |
| 2 買い物の際は、「てまえどり」（※2）を実践している
（※2：スーパーやコンビニなどの食品小売店で、陳列棚の手前にある消費期限や賞味期限の近い商品を進んで買う行為） |
| 2 食材が長持ちするよう、食材の保管方法を工夫している |
| 3 調理方法を工夫し、調理時の食材の除去部分を減らしている |
| 4 定期的（週1程度など）に冷蔵庫等の中をチェックし、賞味期限などを確認している |
| 5 あらかじめ家族の予定等を確認し、料理は適量作るようにしている |
| 6 余った料理はアレンジしたり冷凍保管するなどして食べきるよう工夫している |
| 7 外食時には、食べきれぬ分を適量注文するようにしている |
| 8 宴会料理は食べきるようにしている |
| 9 生ごみは水気が切れるようにしてからごみ収集に排出している |
| 10 生ごみはコンポスターなどで堆肥化して利用している |
| 11 特段、何も取り組んでいない |
| 12 その他（具体的に） |

問10 「賞味期限」（開封していない状態で、表示されている保存方法で保存したときに、おいしく食べられる期限）と「消費期限」（開封していない状態で、表示されている保存方法で保存したときに、食べても安全な期限）の意味の違いを知っていましたか。（○は1つ）

- | |
|-------------------------------------|
| 1 「賞味期限」と「消費期限」の意味を知っていた |
| 2 食品に何らかの期限があることは知っていたが、意味までは知らなかった |
| 3 知らなかった |

問11 食品を買ってすぐに食べると分かっている場合、てまえどりを実践しますか。（○は1つ）

- | | | | |
|--------|----------|-------|---------|
| 1 必ずする | 2 なるべくする | 3 しない | 4 わからない |
|--------|----------|-------|---------|

問12 問 12 の理由をご記載ください。

(回答欄) (例: 食品が廃棄されるのはもったいないと思うので、てまどりをする 等)

**問13 ごみを減量する方法として、自治体のごみを処理するための費用の一部を指定ごみ袋の料金に上乗せして徴収すること(有料化)についてどのように考えますか。
(○は1つ)**

- 1 高い額でも負担はやむを得ない
- 2 納得できる額であれば負担してもいい
- 3 ごみ処理の経費は税金で賄うべき
- 4 わからない

問14 仮に家庭ごみが有料化になった場合(又は既に有料化されている場合)、大袋(45L程度)1枚にいくらまでなら、払ってもよいと思いますか。(○は1つ)

- 1 10円くらいまで 2 20円くらいまで 3 45円くらいまで 4 90円くらいまで
- 5 それ以上でもかまわない 6 いくらであっても大きな抵抗感がある

問15 家庭ごみ有料化を導入するとした場合、特にどのような点に配慮しなければならぬと思いますか。(○は3つまで)

- 1 資源ごみなど無料回収する品目数を増やす
- 2 ごみの収集サービスを向上させる
- 3 手数料の使い道を明らかにする
- 4 ごみの減量効果をきちんと公表する
- 5 十分な不法投棄対策を講じる
- 6 事業所にもごみ減量指導を強化する
- 7 ごみを出すたびに負担を感じられる料金にする
- 8 家計への負担が少ない手数料にする
- 9 小売店と協力して、ごみにならない販売方法や店頭回収を広める
- 10 その他(具体的に

)

問16 生活する上で出るごみ（「一般廃棄物」といいます）は市町村が収集・処理していますが、ごみ減量やリサイクル率向上のためには、市町村では今後、どのような対策が必要だと思いますか。（当てはまるもの全てに○）

- 1 ごみ排出を抑制するための住民の意識を高めることが必要である
- 2 ごみの分別品目を増やし、分別に対する住民の意識を高めることが必要である
- 3 リサイクル施設を増やし、ごみのリサイクルを重点的に推進していくことが必要である
- 4 ごみを焼却する際に出る熱の利用に取り組むことが必要である
- 5 ごみ処理の有料化を推進（拡大）する必要がある
- 6 資源の集団回収活動を推進する必要がある
- 7 ごみの分別・排出方法についてわかりやすく、何度も広報することが必要である
- 8 資源ごみの回収回数や回収場所を増加する必要がある
- 9 わからない
- 10 その他（具体的に _____ ）
- 11 現在のままで、特に何もする必要はない

問17 5年前と比較し、あなたが使用した容器包装プラスチック（※）の分別意識は高まりましたか。（○は1つ）（※）解説を付記する予定です。）

- 1 5年前と比較し、分別意識が高まった
- 2 5年前と比較し、分別意識は変わらない
- 3 5年前と比較し、分別意識が下がった
- 4 住んでいる地域では容器包装プラスチックの分別回収は実施していないので、資源ごみ以外（燃えるごみ等）で排出している

問18 将来的に人口減少や高齢化が一層進むと、市町村のごみ処理にも影響が生じることが予想されます。今後のごみ処理について、不安や問題に感じていることを選択してください。（○は3つまで）

- 1 高齢化により、ごみ集積所までごみをもっていくことが困難になる
- 2 高齢化により、ごみの分別への対応が困難になる
- 3 地域の高齢化等により、ごみ集積場所の管理が困難になる
- 4 ごみ分別がさらに細くなった場合、対応することが困難になる
- 5 人口減少等による空き家等の増加により、地域内に片付けられないごみが増加する
- 6 人口減少等による市町村財政の悪化により、ごみ処理手数料やごみ袋の値段が一層高くなる
- 7 人口減少等による市町村財政の悪化により、ごみ回収などのサービスの質が低下する
- 8 人口減少等による市町村財政の悪化により、老朽化したごみ処理施設の更新が滞る
- 9 ごみ排出量の減少により、市町村の処理施設が遊休化する
- 10 地域の高齢化等により、災害時に発生した災害廃棄物を片付けることが困難になる
- 11 特段、不安や問題に感じていることはない
- 12 その他（具体的に _____ ）

問19 あなたがお住まいの地域の廃棄物（一般廃棄物・産業廃棄物）に対してお持ちの印象（イメージ）について該当するものを選択してください。（当てはまるもの全てに○）

- 1 リサイクルや減量化が十分行われている
- 2 処理施設における処理や管理が適正に行われている
- 3 処理施設（焼却施設や最終処分場）は、産業活動を支えている
- 4 リサイクルや減量化が十分に行われていない
- 5 処理施設に置ける処理や管理が適切に行われていない
- 6 不法投棄や不適正処理が多い
- 7 ダイオキシンなどにより空気、地下水や水源、土壌の汚染を発生させている
- 8 分からない

問20 大規模な災害が発生した際、災害によって発生した廃棄物の処理が全国各地で問題となっています。災害廃棄物は一度に大量に発生することから、市町村では災害の規模に応じて、各家庭から排出された災害廃棄物を一時的に集積し、保管する仮置場を設置することとなります。仮置場は、法令等の手続や規制に従うとともに、生活環境に支障を与えないよう配慮した上で設置することとしています。設置場所についてどのように考えますか。（○は1つ）

- 1 搬入の利便性を考えて生活環境の近くに設置された方がよい
- 2 若干遠くても搬入の利便性を確保した上で生活環境から離れた場所に設置された方がよい
- 3 搬入の利便性が悪くても、生活環境から可能な限り遠ざけて設置された方がよい
- 4 よくわからない
- 5 その他（具体的に _____）

問21 あなたがお住まいの地域に廃棄物の焼却施設や最終処分場が適正に立地されることとなった場合、どう思いますか。（○は1つ）。

- 1 法令等の手続や規制に従っているのであればやむを得ない
- 2 住民合意が得られればやむを得ない
- 2 いずれにせよ反対である
- 3 どちらとも言えない

問22 身近な場所に廃棄物の処理施設が立地されとした場合、行政への要望はありますか。（○は1つ）

- 1 あり
- 2 なし

(問 22 で「1 あり」と回答した場合)

問23 行政に求める対応について、該当するものを選択してください。(当てはまるもの全てに○)

1 処理施設の運転や管理に関する情報の公開

2 施設への立入や見学の自由化

3 行政の監視や指導の強化

4 苦情や相談窓口を処理施設等に設けること

5 「地域を活性化させる」ための処理施設の周辺整備事業

→具体的な内容 ()

6 「快適な生活環境を創設する」ための処理施設の周辺整備事業

→具体的な内容 ()

7 「地域住民との交流を広げる」ための処理施設の周辺整備事業

→具体的な内容 ()

8 行政自らが処理施設の建設や管理・運営を行うこと

9 行政と民間が共同して処理施設の建設や管理・運営を行うこと

10 施設の立地や施設整備の際に、設置者、住民の間に行政が入って調整すること

問24 循環型社会形成のため、行政の取り組みとして重要と考えるものはどれですか。(○は3つまで)

1 排出者責任の徹底を図るための、監視・指導体制の一層の強化

2 不適正処理、不法投棄に対する、監視・指導体制の一層の強化

3 処理業者に関する、評価や行政処分等の情報公開

4 県や市町村が関与する、公共の処理施設の整備促進

5 廃棄物の減量及びリサイクル技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充

6 排出事業者に対する適正処理・リサイクルに関する、講習会や研修会の拡充

7 住民に対する適正処理、循環型社会に関する啓発活動

8 廃棄物の減量・リサイクル推進の仕組みづくり

9 効果的なごみ減量や分別排出を展開している企業などの事例紹介

10 市町村処理施設における産業廃棄物の受入

11 環境ビジネスの振興

12 優良な廃棄物処理業者の支援と育成

13 その他 (具体的に)

問25 廃棄物分野に関して、県や市町村の関与のあり方、取り組み等について意見があればご記入ください。

--

○あなたの年齢、性別、職業に該当する番号に○を付け、現在お住いの市町村名をご記入ください。

年齢	1 20歳未満	2 20歳～29歳	3 30歳～39歳	4 40歳～49歳
	5 50歳～59歳	6 60歳～69歳	7 70歳以上	
性別	1 男性		2 女性	3 答えたくない
職業	1 農林水産業	2 会社員	3 公務員	4 経営者・自営業
	5 フリーランス	6 主婦・主夫	7 学生	8 無職
お住まい	() 市・町・村 (市町村名のみ)			

ご協力ありがとうございました。
本調査票は同封の封筒によりご返送ください。切手は不要です。